

## LGBTQ+に関する取り組み評価「PRIDE 指標」で2年連続「ゴールド」を受賞

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬伸一、以下「当社」)は、任意団体「work with Pride<sup>※1</sup>」(以下「wwP」)が策定した、企業・団体等における LGBTQ+<sup>※2</sup> といったセクシュアル・マイノリティへの取り組みに関する評価指標「PRIDE 指標 2023」において、「ゴールド」を受賞しましたのでお知らせします。「PRIDE 指標 2022」に引き続き、2年連続での「ゴールド」受賞となります。

※1 企業などの団体において、LGBTQ+に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体です。

※2 Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender, Queer/Questioning の各語の頭文字をとった表現で、+はこれらのほかにも様々なセクシュアリティがあることを意味し、性的マイノリティを表す総称の1つです。

### 1. 「PRIDE 指標」について

「PRIDE 指標<sup>※3</sup>」は企業・団体等の枠組みを超えて LGBTQ+当事者が働きやすい職場づくりを日本で実現することを目的に wwP が策定した指標です。①Policy(行動宣言)、②Representation(当事者コミュニティ)、③Inspiration(啓発活動)、④Development(人事制度・プログラム)、⑤Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)の5つの評価指標で採点するものです。当社は、5項目すべてを満たし「ゴールド」を受賞しました。



※3 詳細は wwP オフィシャルサイト参照 <https://workwithpride.jp/pride-i/>

### 2. 当社の取り組み

当社は LGBTQ+当事者も含めたすべての社員が持てる力を最大限発揮できるインクルーシブな職場づくりに向けて、①LGBTQ+に関する正しい理解と心理的安全性の確保、②LGBTQ+当事者も含めたすべての社員が力を最大限発揮できる人事制度、職場環境の整備、③社内外への認知度向上を実現すべく、様々な取り組みを展開しています。PRIDE 指標の評価項目別の主な活動内容は、以下の通りです。

評価指標項目	主な活動内容
Policy (行動宣言)	会社としての LGBTQ+、または SOGI <sup>※4</sup> に関する方針(差別禁止等)だけでなく、お客様・取引先等に対する姿勢を、『東京海上グループ人権基本方針』および『東京海上グループコンプライアンス行動規範』に明文化し、公開しています。
Representation (当事者コミュニティ)	LGBTQ+当事者及びアライ <sup>※5</sup> が加入できるアライチームを創設し、イベントの企画・運営等の活動をしています。アライを可視化するステッカーやストラップの配布、社内外の専門家に対応する相談窓口を設置するなど、心理的安全性の高い職場環境を作っています。

Inspiration (啓発活動)	「LGBTQ/SOGI を知ってアライになろう」をテーマに全従業員を対象とした研修を実施しています。6月のPRIDE月間には、アライを表明した役員からのメッセージを社内イントラネットで発信し、LGBTQ+の理解促進に努めています。
Development (人事制度・プログラム)	福利厚生等の各種制度について、同性婚を含む事実婚パートナーおよびその子にも利用を認めています。また、希望する性に基づく通称名の使用を可能としています。
Engagement/Empowerment (社会貢献・渉外活動)	プライドハウス東京に協賛し、LGBTQ+やそうかもしれないと感じているユースへ向けたイベントに参画しました。また、他社との合同セミナーや、アライ交流会などを開催し、自らの意識・行動と向き合う機会としています。

※4 性的思考と性自認の英語の頭文字をとった、人の属性を表す略語です。マイノリティかマジョリティかを問わず、すべての人に関わる要素であり、LGBTQ+を包含しています。

※5 LGBTQ+の理解者・支援者を指します。

今後も、当社は社員の意識行動改革や社会への働きかけを積極的に行うことで、社会課題の解決に貢献できるよう取り組んでまいります。

以上